

女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会

第3回 検討会 議事概要

(1) ドライバーアンケート結果について

【資料1：ドライバーアンケート結果】

【資料2：事業者アンケート結果】

【資料3：女性職員アンケート結果】

【資料4：女性ドライバーヒアリング結果】

- ・アンケートの回答数の多さは、トラック業界の関心の高さの表れだと思う。
- ・資料1のドライバーアンケート結果では、左のドアミラー、ステップなどの問題点が多く挙げられている。後付けで対応するという考えもあるだろうが、保安基準や車検制度上の規制にも留意する必要がある。
- ・後付け装置については、規制内容や手続き面などに関する注意喚起についても検討しなければならない。
- ・ステップの改善に関する意見には、運転席と荷台の両方に要望がある。
- ・荷台への乗り降りについては、女性ドライバーのみならず、高齢ドライバーも含めた全ドライバーへの対策を検討していただければと思う。・女性ドライバーは8～9割が現状でも良いと回答している一方で、少数意見ではあるが不満の声もある。こうした状況を身長別や車種別などのクロスで見ると良い。
- ・「どういう人が何に問題を感じているのか」ということをさらに追及する必要があるかと思う。
- ・貨物運送事業の労災事故では荷台からの転落事故が一番多い。特にバン車、ウィング車などに取手やハシゴなどで安全が確保できる形で機器が装着されていると良い。ただし、コストと安全のバランスが難しい。
- ・資料3の女性事務員へのアンケートでは、女性職員がドライバーを「辞めた理由」から課題が把握できた。
- ・資料4の女性部門でのドラコン優勝者へのヒアリング結果に関しては、対象者がドラコン優勝者であることに留意する必要がある。

(2) 女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会の取りまとめの方向性について

- ・取りまとめは、アンケート結果だけでなく時代の流れも考慮され、可能であれば、短期・中期・長期といった視点もあると良い。
- ・アンケートなどで挙げられた問題については、何らかのオプションで解決できるというような情報を探し、使う側の人たちに広めたら良い。
- ・「トラックのあり方検討会」だけでは女性を呼び込むには限界があるのではないだろうか。呼び込むためには、別途、働き方改革を含めたグランドデザインなどに関しても検討が必要。

以上